

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
(第12期 第1年 第3回 第1日)
ぎじろく
議事録

1 日時 2018(平成30)年10月14日(日) 午後2時～5時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 20人

アニー タ リシケシュ、アリ ファズラット シャローン、ウラコワ
マハバット、大越 ミュートン トミオ、金 海花、児玉 ノンディシャー、
許 成龍、蔣 香梅、シロコラデュク イリヤ、鈴木 ミリアム、スタント
イルワン、崔 敬心、チョ チョ カイン、寺田 ヘザー、トラン フォン
ズオン、バテネフ アルチョム、ポール ウツザル クマル、ポソ ロドリゲス
ミゲル アンヘル、前田 喜与美、ロマンダ デイビッド

(2) 事務局

須藤 担当課長、一ノ瀬 担当課長、関口 主任、日下部 職員、高橋 専門
調査員

4 傍聴者 7人

5 会議次第(公開)

(1) 開会

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

スタント委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議、2018年度第3回第1日を開催する。今日は劉委員、ゴタメ委員、ウェーヴィタ委員、ウル委員、ラサル委員、ロペス委員から欠席の連絡が届いている。まず、今日の日程と配布資料の確認について、事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が説明)

スタント委員長「次に、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし)では、議事に入る。1つ目の議事は、2019年度の会議の日程についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局日下部職員が資料2に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし)とくに問題がなければ、決をとって承認したい。それでよろしいか。(異議なし)では、日程案に賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)2つ目の議事は、オープン会議についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料3に基づき説明)

スタント委員長「何か質問はあるか。(なし)続いて、今日の実行委員会の報告をお願いする。」

前田副委員長「実行委員会では、資料にあるC案のテーマは限定せずに自由に意見を言ってもらうのがよいのではないかと。ゲストに関しては、漠然としているが誰かに来てもらいたいという意見が多かった。」

スタント委員長「それでは、前回に引き続きテーマについて話し合いたい。資料には、大きな方向性としてA、B、C、Dと整理してある。何か意見はあるか。(なし)それでは、まずは方向性だけ共有したい。C案に賛成の人は手を挙げてください。(17人)では、方向性としてはC案ということになったが、もう少し具体的にはどうするか。」

寺田委員「以前にも意見が出たと思うが、やはりどうしても日本人の参加者が多いということなので、日本人も一緒に考えられるものがよい。」

スタント委員長「ほかに何かあるか。(なし)」

(事務局高橋専門調査員が補足説明)

寺田委員「私たちが審議テーマの候補としてあげたテーマが25個ある。そこから

いくつかピックアップして紹介したらどうか。」

スタント委員長「今、25個のテーマを軸に考えたらどうか、という意見が出たが、みなさんどうか。」

ウラコワ委員「25個全部だと話が散ってしまうので、10個くらいに絞った方がよいのではないか。」

チョ委員「去年のオープン会議に参加したが、参加者からはいろいろな質問や意見が出た。逆に、代表者の人たちが答えられなかったということもあった。」

ボソ委員「私はもっと具体的にテーマを絞った方が意見をもらえるのではないかと思う。」

前田副委員長「25個のうち0票だったものは省いてもよいのではないか。」

アリ委員「0票だったものでも関心のある人はいるかもしれない。」

スタント委員長「とくにこちらからテーマを紹介しなくても、自由に意見を言える時間は確保するようにする。」

金委員「テーマの紹介はあくまでも話のきっかけづくりだと思う。基本的には、自由に意見を言ってもらえばよいのではないか。」

スタント委員長「そろそろ時間になってしまったので、今日はここまでとして、次回また続きを話し合いたい。では、最後にゲストについての希望はあるか。」

ウラコワ委員「なるべく幅広いテーマをカバーできる、外国人の研究をしている専門家がよい。」

スタント委員長「具体的な人選は事務局に任せるということでよいか。賛成の人は手を挙げてください。(19人) 予定している時間を過ぎてしまっているので、次の議事に移りたい。次は、部会の設置についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料4に基づき説明)

スタント委員長「部会のわけ方については、説明にあったように案1と案2がある。ほかに案はあるか。(なし)では、決をとりたい。案1に賛成の人は手を挙げてください。(11人)では、次に誰がどちらの部会に入るか決めたい。(順番に希望を確認 → 部会A(7人)・部会B(13人) → 人数調整 → 変更なし)では、このあとの部会にわかれてからのことについて、とくに正副部会長の選出方法について事務局からお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料4に基づき説明)

スタント委員長「部会長と副部会長の役割と選出方法について説明があったが、何

か質問はあるか。」

ウラコワ委員「正副委員長・部会長会議の頻度はどのくらいか。」

スタント委員長「通常、1回の会議に対して1回だ。大体、会議の2週間前くらいに行っている。」

アリ委員「どこでやるのか。」

スタント委員長「市役所だ。最寄駅は川崎駅だ。ほかにあるか。（なし）では、今、説明のあった選出方法について賛成の人は手を挙げてください。（全員賛成）それでは、移動と休憩を挟んで部会審議をお願いする。全体会の再開は16時30分からとする。」

【部会A】

事務局日下部職員「それでは、これから部会長と副部会長の選出をする。先ほど、全体会で決定したように部会長と副部会長が選出されるまで私が仮議長として進行する。何か質問はあるか。」

崔委員「正副委員長・部会長会議の日程と時間はどうやって調整するのか。」

事務局日下部職員「正副委員長と部会長の4人に都合を聞いて決める。」

鈴木委員「今日、6人も欠席しているので、次回決めてはどうか。」

事務局日下部職員「次回からもう審議が始まるので、今日決めてもらいたい。よろしいか。（異議なし）では、さっそく部会長から選出したい。」

立候補 — 崔委員

推薦 — 鈴木委員（→辞退）

事務局日下部職員「それでは、決をとる。崔さんに賛成の人は手を挙げてください。

（全員賛成）続いて、副部会長を選出したい。」

立候補 — アリ委員

推薦 — なし

事務局日下部職員「それでは、決をとる。アリさんに賛成の人は手を挙げてください。

（全員賛成）部会長と副部会長が決まったので、それぞれ簡単にあいさつをお願いする。」

崔部会長「正直、こういうのは苦手なところもあるのだが、長く川崎に住んでいる市民として、また昔からどうすれば日本の方と一緒にお互いに理解し合えるということを考えていたので、この機会を生かして、みなさんでいろいろ話し合いながら、みんなが必要とする提案ができればと思っている。みなさんの

力を借りながら頑張りたいと思っているので、よろしくお願ひします。」

アリ委員「私は部会長を支えていきたい。個人的には、国際都市としてColor
s, Future!というのを進めていきたい。」

事務局日下部職員「ここで、このあとの進行について部会長と簡単な打ち合わせを
したい。みなさんは少し休憩をしていてください。」

(小休憩)

崔部会長「それでは、部会を再開する。部会の残り時間はあと16分しかない。
予定では、部会の名称や審議計画を話し合うことになっていたが、今日は次回
の審議テーマの決定と資料のリクエストだけということにしたい。まずは、
次回の審議テーマを決めたい。順番に聞くので、希望するものに手を挙げてく
ださい。『情報・相談』(4人) 過半数なので、次回の審議テーマは
『情報・相談』とする。次に、事務局に準備して欲しい資料のリクエストをお
願ひする。」

アリ委員「市の相談窓口について、どういった窓口があって、どういった相談がどの
くらいあるのか知りたい。」

シロコラデュク委員「インターネットを使って証明書を取得できるような環境づくり
について話し合いたいと思っている。」

鈴木委員「川崎市には7つの区がある。川崎区と幸区では外国人への取組が積極的
だが、ほかの区ではどのような取組をしているのか知りたい。」

前田副委員長「麻生区の区役所には英語で説明が見られる機械がある。そういったも
のがほかの区にもあるのか知りたい。」

シロコラデュク委員「インターネットの情報をもっとうまくまとめて欲しい。」

事務局日下部職員「事務局としても現時点ですべてを把握しているわけではないので
どこまで答えられるかわからないが、できる範囲で準備したい。」

崔部会長「では、時間になったので、これで部会Aを終わりにする。」

【部会B】

事務局高橋専門調査員「それでは、部会長と副部会長が決まるまで私が代わりに
進行する。何か質問はあるか。」

チョ委員「部会長は、正副委員長・部会長会議に出席する。それと、来年度も継続
して務めるということでよいか。」

事務局高橋専門調査員「そのとおりだ。では、さっそく部会長から選出したい。」

- 立候補 — なし
 推薦 — ウラコワ委員 (→承諾)
 寺田委員 (→辞退)
 ボソ委員 (→辞退)
 蔣委員 (→辞退)

事務局高橋専門調査員「それでは、決をとる。マハバットさん [ウラコワ委員] に賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成) 続いて、副部会長を選出したい。何か質問はあるか。」

寺田委員「副部会長はマハバットさん [ウラコワ委員] が欠席の場合、正副委員長・部会長会議に代理で出席する必要があるか。」

事務局高橋専門調査員「マハバットさん [ウラコワ委員] が欠席の場合でも、副部会長は正副委員長・部会長会議には出席しない。その場合だけ、個別に打ち合わせすることにした。よろしいか。(異議なし)」

- 立候補 — なし
 推薦 — 金委員 (→辞退)
 バテネフ委員 (→承諾)
 蔣委員 (→辞退)
 ボソ委員 (→辞退)

事務局高橋専門調査員「それでは、決をとる。アルチョムさん [バテネフ委員] で賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成) それでは、ここで部会長と事務局で少し打ち合わせをさせて欲しい。みなさんは、休憩しててください。」

(小休憩)

事務局高橋専門調査員「では、部会を再開する。まずは、2人からそれぞれあいさつをお願いします。」

ウラコワ部会長「初めてなので、すごく緊張しているが、みなさんとよい審議をして、よい結果を出せるようにしたい。よろしくお願いします。」

バテネフ委員「一生懸命、部会長の活動を支援しようと考えている。よろしくお願いします。」

事務局高橋専門調査員「では、ここからは部会長に任せる。」

ウラコワ部会長「まずは、部会の名前についてだが、残りの時間も少ないので次回に回したらどうか。」

寺田委員「次回までに考えてくる方がよいと思う。」

ウラコワ部会長「それでは名前については、次回までに考えてくるということにしたいがよいか。（異議なし）次に、審議計画についてだが、何か意見はあるか。」

スタント委員長「先に就労支援をやって、そのあとに関連する教育関係のテーマをやったらどうか。」

寺田委員「タイミグ的に1月に就労支援がよいのではないかと思っている。」

許委員「事務局の資料の準備のしやすさとしてはどうだろう。学校での子どもへの日本語支援が、一番準備しやすそうな気がするがどうか。」

事務局高橋専門調査員「事務局としては、学校での子どもへの日本語支援が一番資料のイメージがしやすい。」

ウラコワ部会長「では、提案のあったスタントさん、寺田さん、許さんの案から選んで決めたい。まずは、スタントさんの案に賛成の人は手を挙げてください。（6人）次に、寺田さんの案に賛成の人は手を挙げてください。（1人）最後に、許さんの案に賛成の人は手を挙げてください。（6人）」

事務局高橋専門調査員「スタントさんの案と許さんの案が同数だ。同数の場合は、議長が決定するというのがこの会議のルールなので、部会長に決めてもらいたい。」

ウラコワ部会長「では、次回のテーマは、学校での子どもへの日本語支援ということにしたい。」

（事務局高橋専門調査員が資料と資料のリクエストについて説明）

ウラコワ部会長「それでは、準備して欲しい資料のリクエストをお願いします。」

児玉委員「川崎市内の学校にどのくらいの外国人がいるのか知りたい。どこの区に多いのかも知りたい。」

ウラコワ部会長「すでにある日本語支援の制度の説明と利用者について知りたい。」

寺田委員「ハーフの子どもたちのためのプログラムのようなものがあるのか知りたい。」

児玉委員「外国人を受け入れない学校や日本語がまったく話せない場合に受け入れを拒否されるケースはあるか。」

金委員「日本語支援の制度はボランティアが無料でやっているものか。」

ボソ委員「今、話を聞いていると、みんなが心配しているのは日本で生まれた子どもというよりも、途中から日本に来た場合のケースだろう。」

スタント委員長「実際に制度を利用している人の声がわかれば知りたい。」

ウラコワ部会長「それでは、そろそろ時間になったので、今日の部会はこれで終わりにする。」

【全体会】

スタント委員長「それでは、全体会を再開する。まずは、部会報告を部会Aからお願いする。」

崔部会長「部会Aの部会会長になった崔だ。部会Aでは、名称は次回の会議で決めることになった。次回の審議テーマは、情報・相談になった。資料のリクエストとしては、主に外国人市民からの相談内容と相談件数、各区役所での取組などについて知りたいというリクエストがあった。」

スタント委員長「今の報告について何か質問や意見はあるか。（なし）では、続いて部会Bの報告をお願いします。」

ウラコワ部会長「部会長には私が、副部会長にはアルチョムさん〔バテネフ委員〕が選ばれた。部会の名称については、私たちも次回の会議で決めることにした。次回の審議テーマは、学校での子どもへの日本語支援に決まった。資料のリクエストとしては、川崎市にすでにある制度の説明や外国人の子どもの数などが知りたいという意見があった。」

スタント委員長「何か質問や意見はあるか。（なし）では、続いて実行委員会報告をお願いします。」

アリ委員「先日の多文化フェスタさいわいの参加者は、予定では15人だったが実際には8人だった。体調を崩して不参加だった人もいるようなので、体調管理をお願いします。11月4日の市民祭りでは、オープン会議のPRをしっかりとやりたい。みなさんをお願いしたいのは、世界のお茶の提供と世界の衣装体験だ。簡単に羽織れるような衣装があれば、持って来て欲しい。それでは、参加者の確認をしたい。（参加者の確認）」

スタント委員長「今日の議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いします。」

【事務連絡】

- ・追加の配布資料について

- ・花展への協力のお願いについて
- ・かわさき市民祭りについて

スタント委員長「次回の会議は11月25日、日曜日、午後2時から、ここ国際交流センターで開催する。これで、2018年度第3回第1日の会議を終わりにする。お疲れさまでした。」